

アルビレオ ウィンドアンサンブル 第5回演奏会 ～保科洋の世界V～



嗚呼! / 兼田 敏
Ah! / Bin Kaneda

Lamentation-to ~ Thema & Variations ~ / 保科 洋
Hiroshi Hoshina

WEST SIDE STORY Selection
/ LEONARD BERNSTEIN
/ Arr. W.J. DUTHOIT



角帽子 / マヌエル・デ・ファリャ / 編曲 保科 洋
The Three Cornered Hat / Manuel de Falla / Arr. Hiroshi Hoshina



指揮 保科 洋 Hiroshi Hoshina

TMG ～パーカッショングループによるステージ～ (第2部)



*となりのトロ

～ずぶぬれオバケ・オバケやしき!・風の通り道
・おかあさん・まいご・となりのトロ～
作曲 / 久石 譲 編曲 / 水野 和香子

*風紋【打楽器アンサンブル版】(世界初演)

作曲 / 保科 洋 編曲 / TMG

2020年 **2月22日**(土) 開場 / 13:30 開演 / 14:00

三田市総合文化センター 郷の音ホール (大ホール)

- 一般：¥1,500
- 高校生以下：¥1,000

未就学児の入場はご遠慮ください

主催 / アルビレオ ウィンドアンサンブル

後援 / 三田市教育委員会・三田市吹奏楽連盟・兵庫県吹奏楽連盟

お問い合わせ / アルビレオ ウィンドアンサンブル事務局 Mail: takaotp@yahoo.co.jp



ALBILEO WIND ENSEMBLE 5th CONCERT

アルビレオ ウィンドアンサンブル

『アルビレオ』とは、白鳥座の連星(アルビレオ)にヒントを得て作曲された保科洋作品「アルビレオ」に由来しています。吹奏楽演奏において、保科洋氏の「エネルギー思考に基づく演奏解釈」の実現をめざし、平成25年4月に結成されました。小・中・高等学校・大学の教職員、一般アマチュア演奏家、プロ演奏者を含めた、コアメンバー30余名で活動しています。同年10月には、デビューコンサートとして『加東2013音楽の日』にゲスト出演し好評を博しました。

2016年からは「アルビレオ ウィンドアンサンブル演奏会 in 東条」と題し、加東市の中学校吹奏楽部の皆さんと交流演奏会を行っています。

2017年、2018年、2019年1月に開催された「保科洋指揮法クリニック」のモデルバンドとして出演しています。

指揮 保科 洋



1960年、東京芸術大学作曲科卒業。卒業作品にて第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)第1位を受賞。1963年、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、1982年、国立兵庫教育大学着任。2001年、同大学を退官。同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広く、特に吹奏楽では日本を代表する作曲家で、世界各地で作品が演奏されており、海外でも評価は高い。1991年には、日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を現存する作曲家では最初に受賞している。

また全日本吹奏楽コンクール課題曲は、カンティレーナ(1976年度)、風紋(1987年度)、アルビレオ(1998年度)、インテルメッツォ(2017年度)を含め過去4回委嘱されている。

2009年に、ホルン協奏曲「巫女の舞」がイタリアのポルチア国際ホルンコンクール本選課題曲に選出。世界各国のホルン奏者によって熱演された。邦人作曲家の作品が管楽器の国際コンクールの本選課題曲に選ばれたのはこれが初めて。

また2010年にヤマハ吹奏楽団により初演された「復興」は、吹奏楽コンクールでも多数の団体が演奏し、非常に人気の高い作品。指揮活動もシエナ・ウィンドオーケストラをはじめ幅広く行っているが、特にアマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を40年以上の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。

1998年に発表した、認知心理学とエネルギー思考をもとにした演奏解釈法をまとめた『生きた音楽表現へのアプローチ エネルギー思考に基づく演奏解釈法』(音楽の友社)―保科理論―(絶版)は、類書のない理論的音楽解釈法として、アマチュア音楽愛好家はもちろん専門家の間でも評判となった。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価され、平成27年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与され、平成28年度には兵庫県から「文化功労章」が授与された。

2017年4月、脳出血により一時、左半身麻痺になるが、努力と情熱で奇跡的な回復をみせている。

兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

T M G



「大学を卒業してからも、アンサンブルがしたい!」との想いから、代表である水野智紀の呼びかけの元にパーカッショングループ『T M G』を結成。当初は関西学院大学応援団総団吹奏楽部の打楽器パート出身者と、学生時代から交流のあった他大学の先輩が主体であったが、活動を続ける内、社会人になってから知り合った打楽器愛好家も加わり、更に母校の一回りも年の離れたフレッシュな後輩を巻き込んで、生粋の打楽器好きが集まるグループに発展する。

2008年から出場している兵庫県吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテストでは、職場・一般の部において、これまで10個の金賞を獲得。2010年には「マリンバトル」を、2013年には「ク・カ・イリモク」を演奏し、兵庫県代表に選ばれ、関西アンサンブルコンテストに出場。

2019年5月、伊丹アイフォニックホールにてグループ発足以来初となる単独演奏会を開催。好評を得る。